

A06 「問い」で10倍楽しくなる社会科の授業づくり講座

講座の目的

社会の変化に主体的に対応していく力を育むため、社会的な見方や考え方を成長させる「問い」を引き出す授業づくりについて研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。

対象と定員

12名
(小12名・特支)

期 日

平成31年8月8日(木)～9日(金)

研 修 内 容

- 社会科の課題から見た社会科授業づくりのポイント
- 資料活用を図った「問い」を引き出す授業づくり
- 子どもの問いを生かすこれからの社会科授業づくりと評価
- 子どもの目の輝きが変わる社会科の授業づくり

担当者からのメッセージ

「主体的・対話的で深い学び」では、「問い」の重要性が示されています。しかし、「問い」をもたせることの大切さは知っていても、どのように何を教材化すればよいのか、授業構想をどのように行えばよいのかをこれまでの

社会科の授業から見た課題を基に、これからの社会科の授業づくりの在り方について考えていきます。本講座では、文部科学省教科調査官小倉勝登先生をお招きして、より具体的な「問い」のもたせ方について講義していただくことで、授業づくりがこれまでよりも2倍いや、10倍楽しくなると思っています。

